

解 答

52. (A)

53. (D)

54. (C)

55. (A)

56. (D)

52. 「正午です。もう郵便物が届いているはずなのに。なぜ、まだ届いていないのかしら。ひょっとして、今日は配達に何か問題があったのかもしれませんが」

【誤】(A)should have delivered→【正】should have been delivered

▶ 下線部(A)を検討してみましょう。

The mail (A)should have delivered by now.

the mail(郵便物)とdelivered(～を配達する)は目的語と述語動詞の関係ですが、ここではthe mailが主語になっていて、deliveredの目的語がありません。下線部(A)を受動態should have been deliveredと直せば、文脈とのつじつまが合います。

[語句]

□ should[ought to] have done 「～した[～している]はずだ」〔過去に関する推量〕

The game *should[ought to] have started* at noon.

(正午にはその試合は始まっていたはずだ)

▶ should[ought to] have done 「～すべきだったのに」〔過去の行為に対する非難や後悔〕も重要です。

You *should have got up* seven.

(あなたは7時に起きるべきだったのに)

□ by now 「今頃はもう」(=by this time)

53. 「咳がひどかったので、昨日医者に行ってきました。医師は、深刻な病気でないことを確かめるために、レントゲンを撮ってもらうよう、私に助言しました」

【誤】(D)if→【正】that

▶ The doctor advised me (B)to have an X-ray (C)taken...に関して、advise A to do は「A(人)に～するように勧める」という語法、have A doneは「Aを～してもらう」という語法で、「医師は私にレントゲン写真を撮ってもらうよう勧めた」という意味になる正しい表現です。

▶ ...to make sure (D)if it wasn't serious. に関してはmake sureの語法がポイントです。make sureにはthat節、または「of+名詞」が続き、if節(～かどうか)は続きませんので、(D)が誤りです。

[語句]

□ advise A to do 「A(人)に～するように勧める」

I strongly *advise* you *to stop* smoking.

(禁煙するよう強く忠告します)

□ have[get] A done 「Aを～してもらう〔使役〕/Aを～される〔被害〕」

I *had[got]* my hair *cut* at a famous beauty salon. [使役]

(私は有名な美容室で髪を切ってもらった)

I *had* my bag *stolen* last night. [被害]

(昨夜、私はかばんを盗まれた)

□ make sure that節 「必ず～するように手配する/～を確かめる」

I consulted the dictionary to *make sure that* I had spelled the word correctly.

(単語を正しくつづったことを確かめるために辞書を引いた)

▶ make sureの後にはthat節のほか「of+名詞」が続きます。

You should *make sure of* the facts before you write something.

(何かを書く前には事実を確かめるべきだ)

54. 「私たちの高校は生徒を海外留学させることで有名です。9割近くの生徒が2週間のホームステイ=プログラムに出かける」

【誤】(C)goes(単数)→【正】go(複数)

- ▶ 「... **percent of + 名詞**」が主語の場合、述語動詞の**単/複**はofのあとの名詞に合わせます。よって(C)goesを複数のgoとすれば正しい表現になります。

[例] About 30 percent of **the applicants** **are** from private university.

(応募者の約30パーセントは私大出身者である)

About 60 percent of **a person's weight** **is** water.

(人の体重の約6割は水である)

- ▶ 「a (D)**two-week** homestay program(2週間のホームステイプログラム)」においてa two-weekは**形容詞**として用いられています。このような場合、修飾される名詞は複数形にならないので下線部(D)は正しい表現です。

55. 「ジョンは、ニューヨークの人たちは外食好きなので、繁華街の新しい和食レストランは彼らの間で人気になるだろうと確信しています」

【誤】(A)is convincing→【正】is convinced

- ▶ convinceは「(人)を納得[確信]させる」という意味で、以下のような語法をもつ動詞です。

□ **convince A of B** 「A(人)にB(事)を納得[確信]させる」

□ **convince A that**節 「A(人)に～ということを納得[確信]させる」

本問、John (A)**is convincing** that...には目的語となるA(人)に当たるものがありませんので、他動詞の目的語が主語になる形、すなわち**受動態**になったと考えるとつじつまが合います。よって、is convincing→is convincedとすれば文意に合った表現になります。

[語句]

□ **be convinced that**節 「(人が)～ということを確信している」

We **were** absolutely **convinced that** the dog would return.

(私たちはその犬が帰ってくることを完全に確信していた)

□ **eat out** 「外食する」(⇔eat in 「自宅で食事をする」)

56. 「私が外国で暮らしていたとき、英語で理解してもらえない困難がときどきありました。他人の助けがなかったら、私は勉強をやりとげることができなかったと思います」

【誤】(D)could not complete→【正】could not have completed

- ▶ 第2文の、Without the help of (C)**others**,...において**Without**は「～がなければ/～がなかったら」という**仮定法**の用法です。この用法では主節の時制から**仮定法過去/仮定法過去完了**かを判断します。本問では第1文から過去のことを言っているとわかるので、仮定法過去の表現となっている下線部(D)が誤りで、仮定法過去完了の表現could not have completedとします。

[語句]

□ **make oneself understood** 「自分の考え[言葉]を人に理解してもらう」

Can you **make yourself understood** in English?

(あなたは英語で用が足せますか)

□ **Without ~** 「～がなければ(=If it were not for ~)/～がなかったら(=If it had not been for ~)」(=But for ~)

- ▶ **without ~**の部分には動詞が出てこないなので、いつのことを言っているかは、ふつうは**主節の動詞**から判断します。

Without the sun, all living things **would die**. [仮定法過去]

(太陽がなければ、全ての生物は死んでしまうだろう)

Without your goal, we **would have lost** the game. [仮定法過去完了]

(君のゴールがなかったら、試合に負けていただろう)